

卒業生によるボランティア活動グループ“わ”会報

# 情報ギャラリー

第20号

情報ギャラリー第20号

発行日 2002年10月27日  
 編集 グループ“わ”広報部  
 発行者 久保雅一  
 発行元 神戸市シルバーカレッジ  
 社会還元センターグループ“わ”  
 TEL(078)743-8101  
 FAX(078)743-8103

## 秋晴れの学園祭に参加 出店はMr. ドーナツとベトナム食品

秋晴れの10月12日、カレッジ挙げての行事学園祭が行われ、グループ“わ”からは本部がミスター・ドーナツ、国際部会がベトナム食品と中庭に2店出店したほか、ステージ演技でもOBとして多数の会員が出演した。



▼本部のミスタードーナツ店

▲国際部会のベトナム食品店



ベトナム食材などの販売をしてもらった。

販売担当のほか、高齢者も同行してもらい、この方たちはホールのステージ演技を楽しんで貰った。販売は女性ベトナム人に混じり、国際部会のメ

本部が出店したミスタードーナツは5個入り1箱500円と食品関係では単価が高かったにもかかわらず、ショッピングバッグなどの値打ち品のおまけを付けたせいか、開店早々から売れ行き好調で、閉会時間を待たずに完売した。また同店ではメンバーの田波さん(園5・兵)が育てたランの小鉢の即売も行ったがこれも全部売れた。

一方国際部会は昨年に引き続き、在日ベトナム人を学園祭に招待し

ンバーも売り子をした。昨年はベトナムの民族衣装を着用したが、昨年と同じ衣裳では、具合が悪いだろうと、持って来なかったそうだ。売れ行きは好調で、特に調理販売した揚げ春巻(チャーゾー)とバナナ春巻は魚醤(ニョクナム)をベースにした特製タレが好評で、昼過ぎには完売した。またその他の食材、調味料、装飾品等も来場者の協力や、ベトナム人女性の上手な日本語による説明もあってよく売れた。春巻の皮は調

### NPOへの途(みち)

グループ“わ”の会員数は来春には一千人を超える見込みとなりました。年度ごとに増加する私たちグループ“わ”の維持は、限られた助成金では限度があります。

グループ“わ”の財務的自立は、早急に取り組みねばならない案件です。ですから近い将来を見据えてグループ“わ”の維持を図るため対外的に認知された団体(県・市およびそれらの外郭団体より受託事業の受けやすい環境)としてNPO法人の資格取得に努めているのです。

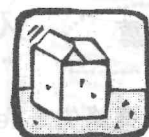
また、年度ごとに増加する会員全員に、諸々の連絡事項や、情報ギャラリー(季刊)を郵送したり、ボランティア保険料を支払うためにも来年度からは年会費の徴収を考えています。なにとぞ皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

\*

申請関係では第2回NPO検討委員会を9月9日に行い、NPO法人設立趣意書、定款について討議し、10月8日に兵庫県庁の担当部署で指導を受け、年内に申請書類一式を県庁に提出する予定です。(事務局)

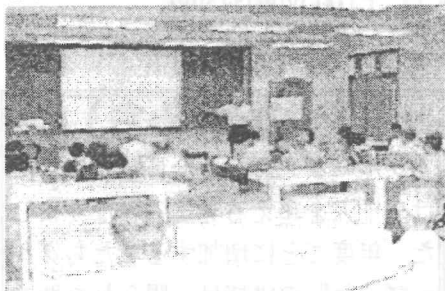
理法の説明書付きで販売した。売上は[NGOベトナム IN KOBE]の資金として全額持ち帰ってもらった。彼女等の別れの挨拶はカムウン(ありがとう)、タンビエット(さようなら)だった。

(国6-広 橘高 正昭)



# 本部

## 一般市民向け 初のパソコン講座終了



グループ“わ”ではシルバーカレッジ事務局の要望を受けて、8月夏期休暇中に高齢者一般市民を対象にパソコン講座、入門コース《8月1日～8月6日(土・日除く)》と応用コース《8月26日～8月29日》の4日間、各コース30名、午前9時30分～12時30分までカレッジLL教室を使用して実施しました。

応募状況については、「こうほう」に掲載初日、電話、FAXによる申し込みが殺到、1時間ほどで定員オーバー(補欠含む)の盛況で事務局

## 事務局Eメール開設

“わ”事務局もインターネットに繋がり、メールアドレスを取得しました。“わ”へのご希望・ご意見、会報への原稿送付にご利用ください。また皆さまのアドレスをお知らせください。“わ”のアドレスは：  
group-wa@portnet.ne.jp  
です。

さっそくですが新しい活動報告書用紙を用意しました。ご希望の方はメールで申込んでください。

の皆様には対応ありがとうございました。

講師は朝日照夫(広報部)が担当し、アシスタントには2月に長寿社会開発センターの助成金で行った講座受講者の内、日程の合う方に集まって頂きました。

講習に当たっては、テキスト以外に関連用語、操作方法等盛りたくさんな説明もあって、受講者の反応も大変好評でした。

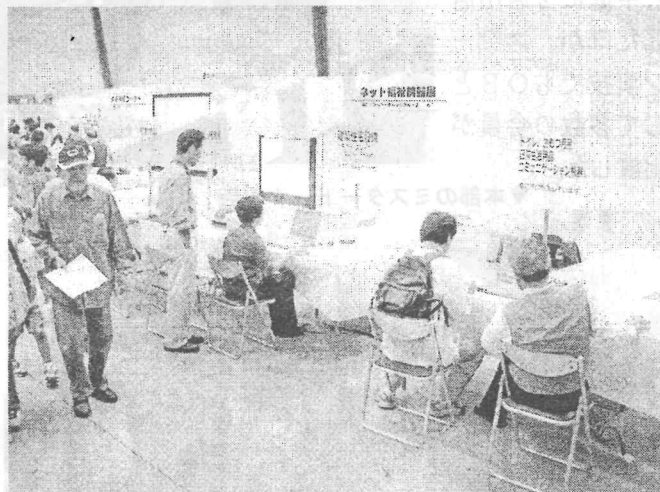
講習会終了後、受講者から再度講習を受けたいが何時ごろ行われるかの問い合わせがあり、パソコンを学習したい人がまだまだ有り、機会が

あれば受講したい気持ちを持っている人の多さを感じました。受講者の中からはカレッジについての質問もあり、説明をしたところ入学を希望する人もおられましたので、11月にオープンキャンパス(来年度入学希望者に対するカレッジについての説明会)が行はれることを話しました。

(追記) 11月、12月のパソコン講座受講者申し込み終了しました。2月に応用コース、メールを行います。3月、4月にかけて高齢者一般市民対象に入門コース、応用コースを行う予定です。

## 第13回こうべ健康・福祉フェア ネット福祉機器展に操作・説明補助で参加

第13回こうべ健康・福祉フェアは10月6日(日)しあわせの村の中央部全域で開かれたが、ことしは初の試みとして体育館内でパソコンを使ってインターネットの中の福祉機器の検索・閲覧を来場者に自由に体験



してもらった。出展者はこうべ市民福祉振興協会だが、パソコンはシルバーカレッジのノートパソコン5台を使うことになり、その運搬、会場での接続、来場者への操作説明、後片付けなど要員の要請がカレッジ事務局を介して“わ”にあり、時間的な関係から事

務局で把握しているメールアドレスを持つメンバーにメールで応募をよび掛けた。すぐさま応募があり、総勢9名が前前日の準備とフェア当日の2日間、催しに参加した。

本番では村の本部が作ったクイズ4問のチラシを来場者に配りインターネットで解答を探してもらったがやや難しく、途中からはかなりのヒントを出して景品を持ってもらった。すらすらとパソコンを操作する中学生や1時間ほど座り込んで何かを検索する人もいたが、全般的にはまだインターネットへの関心は低いようだった。午後4時、閉会と共に撤収作業に入り、機材を本部に運んで解散した。(国6-広 朝日)

## KSCふれあいの会

秋の行事

日帰りバス旅行 11月21日(木)

四国 八十八ヶ所一番札所 霊山寺  
新祖谷温泉(露天風呂) ホテルかずら橋

会員募集

入会随時受付中

“わ”の会員さん大歓迎

連絡先: Tel・Fax 078(592)8423 高橋まで



# 福祉部会

## 真愛ホーム(特養)夏祭り

福4-福 柳内 隆治

8月11日(日)午後3時から同6時まで恒例の夏祭りが中央区の真愛ホーム1階デイサービスルーム、食堂、ホール等の特設会場として盛大に開催されました。最初、施設長の挨拶で夏祭りが始まり、我々グループ“わ”からは中央区のメンバーを中心に12名がボランティアとして参加し、入所者のお年寄の部屋からイベント会場への誘導、模擬店での買い物介助、目配り、気配りで転倒などの事故防止に努めました。このイベントは施設の職員はもちろんのこと、グループ“わ”、YWCA、神戸保育専門学校、ラフトあつぷる、社福元実習生、頌栄元実習生、神戸看護実習生、SC銭太鼓楽遊クラブ、沖縄舞踏発ON、吾妻婦人会等々の多くのグループ、家族、職員などのサポーターによって支えられているようです。

施設側から利用者紹介カード(移



動、食事、排泄の特徴を記入)を受け取り、買い物金券一人千円×2を胸からつるして二人三脚で買い物です。お年寄の食べたい食物を探しながら自分の食べたい物も探し、食事の介助をしながら自分も食べる。要は買い物から食事、イベント鑑賞等の流れとなる。忙しいです。あっという間の3時間でした。でも楽しかった。施設の職員に無事お年寄りを引き継いでボラは終わりです。施設

の職員、入院している老人と家族の方々、ボランティアとの交流と協力があってこそ楽しい夏祭りが成功すると思います。福祉部会の活動の一部を紹介させていただきました。“出来ることを出来るときに元気な間に行動する”をモットーに微力ながら頑張っていきます。今後とも“わ”の会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

\*

## 明生園音楽遊びグループ

音2-兵 宮城 智子

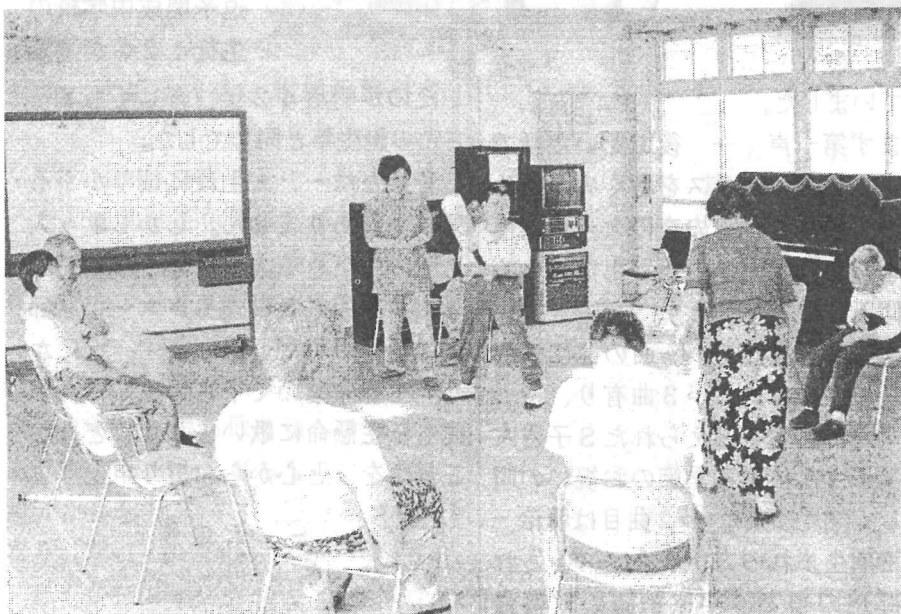
早いもので一昨年2月から続けて

いるこのグループはしあわせの村の中にある知的障害施設明生園に入所の知的障害をもつ少し年齢の高い女性の人たちとピアノに合わせて歌ったり、ゲームや軽い運動をして楽し

いひとときを提供しています。月1回の金曜日の午前、ピアノを弾く人、歌う人、介助する人と3人ぐらいで活動が続けられたらと思っていますので、やってみようと思われる方は、パンジーの会の宮城まで申し出て下さい。笑顔が見られたり、無口だった人がしゃべりだしたり、心を開いてくれたりと、成果が見られます。楽しいですよ!!

今まで協力してくださったメンバーを紹介します。

- 藤原 俱子(食1-須)
- 門脇 淳子(福2-西)
- 原田 照子(音3-西)
- 倉田 朝子(国6-須)



## 国際部会 国際フォーラムに カメラマンとして

IDB Forum in Kobe という「ラテンアメリカ・セミナー」が9月3日から4日間にわたり神戸で開催されることになり、8月下旬グループ“わ”に記録カメラマンのボランティア依頼があった。

カメラマンということだったので在学時代写真クラブのメンバーだった細山 勇さん(国6に世話をお願いした。

毎日2名が会議に参加して、講演者や質疑応答者、コーヒー・ブレイク時の歓談者の写真等々をこまめに撮った。フィルムは延べ8人のカメラマンが35本を消費。

この「ラテンアメリカ・セミナー」は世界の一部の地域からの参加だったが、ラテンアメリカ、東南アジア、それに主催者側から数名の外国



人と日本人が参加して英語による通訳なしの会議が9時から5時まで開催された。途中、神戸市長、兵庫県知事への表敬訪問などもあり、カメラマン1名が随行して撮影した。

IDBは、Inter-American Development Bankの略で、ラテンアメリカ・カリブ海諸国の経済・社会開発を支援するために1959年に創設。開発途上国が共通して抱えている開発

の課題を一つずつテーマに選び、ラテンアメリカ・カリブ海地域とアジア各国でこの問題に取り組んでいる専門家による会合である。

今回は「アジアとラテンアメリカの多くの国で関心が高まってきている地方分権化と地方自治体の意思決定における住民参加にどのように取り組んで行くべきか」を議論し、現状、課題、取組等について意見交換を行ったよし。(国6-国 黒田 宏)

## 文化部会

### 長寿万歳 — 松寿園を訪ねて

食6-文 鷹津 郁郎

松寿園とは、神戸市立の長田区丸山町にある60歳以上の一人暮らしで自立できている方がそれぞれ綺麗な個室に住んでおられる施設です。

園長さんから男声合唱団に対して7月の誕生会における出演依頼があり参加することにしました。同園にはシルバーカレッジから2年以上も前から俳句の会がお手伝いに訪問しています。

さて本日はS子さん(95歳)とY子さん(92歳)の誕生祝の日で、50名の園生全員が出席しました。平均年齢82歳、90歳以上の方4名が元気で生活されています。皆さん正にかくしゃくとした姿を絵に画いたような老人集団です。ピカピカに磨かれた食堂に会場が設営さ



れていました。

まず第一声 — 後で聞いた話ですが、男声コーラスを聴くのが始めての人が多く、その声の大きさに度肝を抜かれたとか、ただただびっくり仰天されたそうです。

何時も歌っている曲の他に、園からのリクエストが3曲有り、一つは7月に誕生を迎えられたSさんとYさんに贈る季節のお祝いの唄として「夏は来ぬ」。2曲目は明治・大正期生まれの方がリクエストされた郷愁の唄で、平家物語の敦盛最

後・忠教都落ちに題材を採った神戸ゆかりの「青葉の笛」です。3曲目は「七里ガ浜の哀歌」—真白き富士の嶺、緑の江ノ島の嶺、かつての旧制女学校の愛唱歌)。逗子開成中学校の生徒12名が遭難

したのが明治42年、奇しくもYさんの誕生年と同じでした。

音楽とは一と大上段に振りかぶる気は毛頭ありません。しかし歌う人も聞いて下さる人も一体となって醸し出す雰囲気私達男声コーラス部員の至福の時だと思います。とにかく一生懸命聞いて下さいました。私達も一生懸命に歌いました。どうかご長命を、と心からお祈り申し上げます。





# 中央区会

## 老健「こうべ」での奉仕活動

音6-中 湯口 澄一

『再び学んで他のために…』と言う建学の精神を学んだ我々、6期生13人、4月、グループ“わ”中央区の月例会合に初参加、数少ない我が区の前輩は24名しかいない。合計で総員37名となる。

「13人もいるのだから、君達で一つ仕事を見つけて組み立てたら」との先輩の指導のもと早速、中央区日暮通にある老人保健施設「こうべ」(タイトルは略称)を訪ねる。

何とここでは既に先輩の岡 正雄(生2-北、絵画指導)、柘屋 百合子(国1-兵、書道指導)の両氏が原田 資三氏(生2)の協力の下に活躍されていた。

施設内の壁には入居者の作品が色々貼ってあり潤いを感じる。応接戴いた市の森係長の依頼、要望を受け、それをもち帰ってグループ“わ”中央区の月例会に諮り、次のように活動することにした。当面毎月第2と第4土曜日にはホーム喫茶の手伝い(2名)、第4水曜日にはカラオケ教室の支援(4名)で立ち上げる。今ひとつ、外出介助は状況を見極めての課題とした。

入居者は54名、年齢構成が50歳代から90歳代と幅広い。全員車椅子、手が不自由、眼鏡の掛け外し、マイクを持つのに介助の必要な方が居られる等。ホーム喫茶のホストも、カラオケ教室のインストラクターも初体験。でも皆ケンメイに取り組んで軌道に乗せることができた。皆さんが喫茶や教室を通じてそれぞれの生活に「張り」を持たれるように祈りながら取り組んでゆく積もりである。回を重ねるにつれ皆さん方からも打ち解けて下さるようになり「励み」を覚えている。

私も勉強になりました。人生コロ



りと死ねるのが一番だが、医学の進歩に助けられ今日ある自分に、この先寝たきり、車椅子の生活が訪れぬとは限らない。今こうして五体をどうにか動かして毎日元気に暮らせることを神に感謝したい。そしてなお一層、健康を維持して「生きている限り元気で」と言う生活を送りたい。

### 参加メンバー

ホーム喫茶：古田 昇・塔向 正富(福6)、木村 好志(美6)、李 愛蘭(食6)、湯口 澄一(音6)の5名。

カラオケ教室：古田 昇・塔向 正富、金原 俊晴(国6)、湯口 澄一の4名。

# 北区会

## パネルの設置任せて

去る7月31日、北区老人クラブ連合会がシルバーカレッジで老人大学を開催したが、文化展に伴う作品

展示用のパネルの設置をシルバーカレッジ広陵同窓会有志でで行い、クラブ連合会から下記のような感謝状を頂戴した。

なお広陵同窓会は広陵小学校児童のグランドゴルフの指導など積極的に地域社会の発展に貢献している。

(国6-北 横井 正昭)

### 感謝状

シルバーカレッジ広陵同窓会  
有志各位殿

北区老人クラブ連合会

会長 熊敏雄

このたびの北区老連主催による老人大学文化展に伴う作品展示用パネル設置につきましては、当方関係者には経験者はいなく一時は業者委託も考えましたが、予算面でそれもならず、心を痛めておりましたところ、強力な助人のお申し出をいただき、ご支援有難うございました。

無事、事故もなく終わることができましたのも、皆様のご支援の賜物と関係者一同感謝申し上げます。

今後とも、よろしくご交誼の程お願い申し上げます。

# 兵庫区会

## 兵庫運河でボランティア

兵庫 パンジーの会

8月31日(土)新川運河キヤナルプロムナードにおいて昨年に引続き第2回ペットボトルいかだレースが開催されました。

兵庫運河は明治9年に船舶の避難場所として先ず新川運河が竣工し、その後、和田岬を迂回する水路として明治32年に運河の全線が開通したことにより国際港都神戸の繁栄基礎となった歴史的遺産であります。この開削百年の歴史のある運河の魅力と、近年とみに水辺環境が整備された運河に親しみを持ってもらおうと、地元の市民と区役所が主催した行事です。当パンジーの会からも三島会長ほか7名が、設営準備から当日の会場運営、特に高齢者や車椅子での来場者への対応に、終日ボランティアとして汗を流しました。

レースは男性の部、女性の部、小・中学生の部などで個人戦やリレー方式の団体戦が行われ、出場チームはさまざまな形のペットボトルを工夫して組み合わせ、それをビニール紐で結束した自慢のいかだで挑戦していました。

スタート直後に早くも横転するチームあり、コースの半ばで浸水するチームなどハプニングの連続でしたが、大勢の観客の歓声に水しぶきを



## 赤い羽根共同募金はじまる

本年は「あなたのまちの幸せのために」をスローガンに、10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まりました。

地下鉄湊川駅では兵庫区役所区長、兵庫区役所地域福祉課、兵庫区

社会福祉協議会、などが先頭にたち募金運動を行いました。兵庫パンジーの会も兵庫区役所からの依頼を受け、例年通り会員10名を動員して、朝の通勤客に共同募金への協力を呼びかけました。

上げながら各チームともゴールまで諦めずに頑張り盛大な拍手をあびていました。

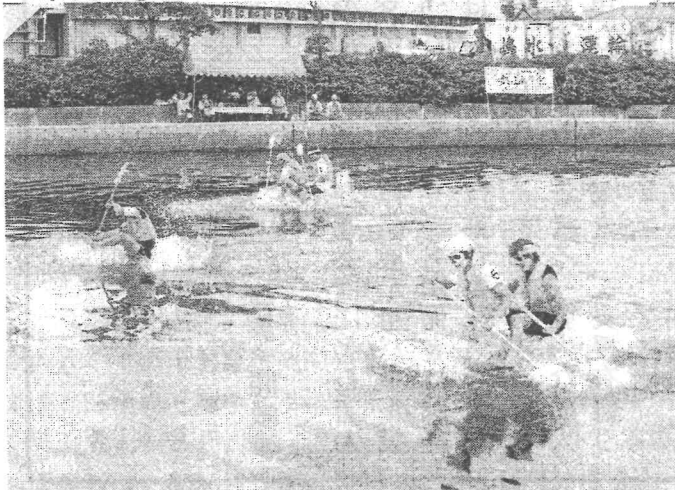
レースを終了したペットボトルは、会場に設置されたボトルリサイクル用の破砕処理機まで運ばれて、瞬く間に山のようなペットボトルがコイン大の角片に破砕され、次々とボール箱に収納されて行きました。破砕されたボトルは、Tシャツやカ

パンに姿を変えて再利用されるそうです。多くの市民が工程を興味深く見守り環境問題への関心の高さを感じさせられました。

会場ではレースのほか「兵庫区の歴史」、「なぎさ海道」の紹介展示コーナーや、軽食の屋台など多彩な行事で多くの市民が真夏のひと時を楽しんで過ごしていました。

(写真：生5-広 江本 親治/記事：生6-広 竹田 昭一)

▼水しぶきをあげて「いかだ」の力漕



▼ペットボトル破砕機でのリサイクル▼





# いまいまヘルシーニュースポーツのつどい

と き : 2002年11月18日(月) 10時~15時 ところ : しあわせの村球技場・シルバーカレッジホール

■ 自由参加です (ただし グランドゴルフのみ事前の申込が必要です)

	場所	種 目	ニュースポーツの説明
雨天中止	球技場	グランドゴルフ	今一番人気の 鳥取で生れたパターゴルフ気分で楽しめる よくご存知の競技 この競技のみ 競技会とします。ハガキで事前申込、締切り 11/9 必着です 1チーム6名のチーム競技です。参加費1チーム¥3,000 個人賞あり(別記参照)
		新種目 マウンテンボール	グランドゴルフにもっと意外性を加味した競技。夢前町生れのホットなスポーツ 最終ホールで大逆転もありハラハラドキドキ 現在 北海道でブレイク中
	中庭	ペタンク	目標に向かって金属製の珠を投げあい より近づけることで得点を競います ビー玉のフランス版 古い歴史を誇る奥の深い球技
晴雨不問	カレッジホール	シャッフルボード	長い航海の気分転換に考案された 船のデッキで楽しむゲーム コートの反対側にある得点圏に向い円盤をスティックで押し進め得点を競います ビリヤードのような知的なスポーツで 一種の陣取りゲームともいえます
		フロッカー	氷上のカーリングを陸上用に改良したもの 投げるのは木製のピン 的の距離も自分できめる よく曲がるピンをびたりときめるのが妙味
		公式わなげ	ゲーム性を高め 女性や子どもにも参加しやすい輪投げ 3.2m はなれた所から9本の目標ピンに輪を投げて得点を競う競技です

## ==== グランドゴルフ競技会 参加申込要領 ====

1チーム・選手6名で申込下さい (個人参加はありません)

申込方法: 官製ハガキに チーム名 1チーム6名全員の氏名 男女 年齢を記入  
さらに代表者 1名の氏名 住所 電話/FAX を記入

送 り 先: 〒651-1102 神戸市 北区 しあわせの村  
神戸市シルバーカレッジ社会還元センター グループ「わ」まで

締 切 り: 11月9日(土) 必着

参 加 費: 1チーム¥3,000 (当日納入)

競技会は先着24チームまでとし  
受付後に詳細をお知らせします

競技方法: 2ラウンド総ストローク(チーム)

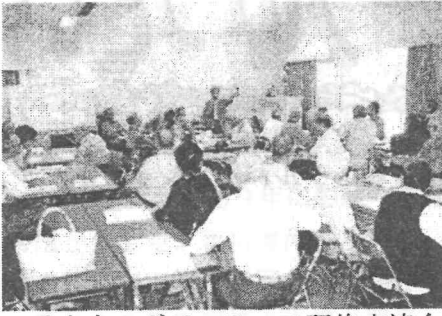
賞 品: 順位各賞・参加賞・個人賞

主催…神戸市シルバーカレッジ 社会還元センター グループ「わ」 (078)734-8101

協力…神戸市シルバーカレッジ・夢前町マウンテンボール協会

## 垂水区会

### 垂水区会 ボランティア活動



垂水会のボランティア研修交流会を7月7日、千代が丘福祉会館で開催しましたので、当日の内容と垂水会のボランティア活動について少し紹介します。当日は48名の会員が参加し、井上会長から会員のボランティア活動に謝意を述べた後、現在垂水会が行っている舞子駅ガイド、舞子駅周辺的美緑花活動およびのぼら学園散歩の各ボランティアの活動状況について現況報告を行いました。また今回新しく垂水区役所ボランティアセンターから依頼されたジョイ垂水老人ホームの散歩の付添いの介護と、グループ“わ”から依頼された垂水区の千鳥が丘小学校の親子ふれあい竹馬作りの指導について協力をお願いしました。引続いて今後シルバーカレッジ垂水会が活動する際の資料にさせて頂くために、福祉に関するアンケート調査を行いました。その内容は、高齢者ならびに障害者に対する支援と行政団体などのイベントに参加することによるボランティア活動です。最後にボランティア活動についての意見交換と舞子ガイドボランティアの体験発表を行いました。

次に各ボランティア活動の内容を紹介します。

1. 舞子ガイドは現在68名の登録者がいて、4名のグループ編成で土・日曜日と祝日に交替でJR舞子駅の近くでガイドを行っています。高速バス乗場と舞子ピラに行く道順を尋ねる人が多く、ときには淡路島の北側周辺の観光地などの説明を求

められることもありますので、観光案内のパンフレットで説明しています。

2. JR舞子駅周辺的美緑花は毎月20日に清掃を行っています。道路や植込みの中にタバコの吸殻や空缶などの投棄が多く、心ない人の反省を望む次第です。

3. のぼら学園の園児の散歩に同行しています。垂水会の20名と地域のボランティアの方が参加しており、40数名の園児が毎週水曜と木曜の2班に分かれて近くの公園などに散歩しますので、この場合、園児が往復の道中と公園で遊ぶときに怪我をしないように、必ず園児1人に大人が1人付添って行動を共にしています。公園で遊ぶときは、子供からのメッセージを早く読みとり、また好みを見つけて楽しませるように心がけています。2時間足らず一緒にいると、自分がこの年代の頃の様子を見ているような気がするときもあります。

4. 竹馬作りについては私達10名が9月2日に千鳥が丘小学校に集合し、3年生の児童約80名とその母親に竹馬の作り方を指導しました。詳細は別項の記事をご覧ください。

5. 福祉に関するアンケートについては、当日参加された多数の方が、複数のボランティアの項目に参加して頂くことになりました。なかでも多くの方が高齢者に対する福祉活動に強い関心を持っておられる結果が生まれました。多くの会員の皆さんがボランティア活動を行っておられると聞いておりますが、みなが幸せな暮しができるように気をつけて頂いている結果と思います。

以上説明しましたほかに、ことしの初め頃には垂水区役所主催美緑花キャンペーン、ウォーキングの道案内ボランティア活動などに多数の方が参加されましたが、詳細については今回は省略いたします。

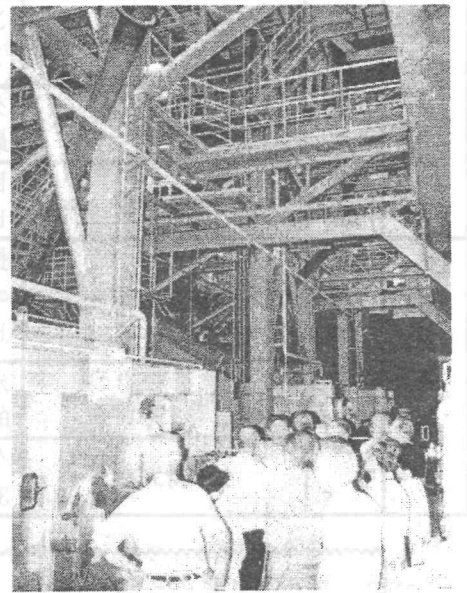
(生5-垂 地域活動部舞子ガイド担当 早田 安雄)

### ごみ焼却設備見学と

#### 講演垂水区のまちづくり

垂水会では研修見学行事として6月に原子力発電所の見学を行ないましたが、今回8月19日には神戸市落合クリーンセンターを訪れました。同センターは須磨区の全部と垂水区の山部のごみを焼却しています。

焼却についての概要説明を受けた後工場見学をしました。ごみの受け入れから焼却炉への投入工程と操作室の様態をシースルーで見た後、工場に入って燃焼設備や後処理設備を身近にみる事ができました。ごみを受け入れるピットのスケールや燃焼炉の炎はなかなかの迫力でした。



驚いたのは排ガス、排水、騒音、臭気などに対する公害防止設備の多さでした。ダイオキシン類の低減対策には、近代設備を更新するなど特に力をいれているとのことでした。

更に燃焼熱は回収され、そのエネルギーは冷暖房や温水プールなどに有効利用されています。

同センターは地下鉄名谷駅に近く、足の便が良いことから校外学習の場として小学生の見学が多く、高齢者団体は少ないとのこと。所長、副所長が実に懇切丁寧に案内して下さいました。

ごみ処理には想像以上に手間とコストがかかっており、市民サイドの一層の自覚が必要と感じました。

次ページに続く



# 垂水区会

## 親子ふれあい竹馬作り

垂水区千鳥が丘小学校では、楽しみにしている運動会の競技用に3年84名の全員が竹馬作りに挑戦することとなり、7月5日(金)グループ“わ”に指導の依頼がありました。7月7日(日)の垂水会ボランティア交流会に提案し、12名の編成で竹馬作りを垂水会で支援することになりました。

予め送っておいた「竹馬作りのテキスト」を参考に担任を初め男子の先生達は、夏休み返上で竹林からの切り取りに始まり、全生徒84名分のすべての材料、用具の準備に取り組みました。その努力には頭が下がります。

一方私達は学校との事前打ち合わせを(2名で)1回、全員による手順確認のための試作および準備状況の確認を数日前に行いました。

竹馬作りの9月2日(月)がやってきました。9時30分、3年84名がお母さん達約30名と講堂にあつまり、挨拶、竹馬作り手順の説明、模範演技の後、9班に分かれ各自の材料を受け取りいよいよ作業開



始です。

1人でやる子、お母さんとやる子、ボランティアをたよりにする子と様々ですが、なるだけ子供達で作らせるとの方針で指導、子供達は真剣に作業に取り組み11時半には1人の怪我もなく全員が完成し、自分の竹馬を自分で作った喜びで講堂が溢れんばかりです。早い子は運動場の試乗に飛び出し無事乗れた喜びの歓声と、はしゃぐ姿があちらこちらに見ることができました。

自分で作った竹馬を大事そうに抱え家路を急ぐ子供を見送り、先生、

お母さん達のお礼の言葉を受けながら、ボランティアの皆さんも「今日は有り難う、運動会頑張っね、またやりましょう」と笑顔で校門を後にすることができました。

その数日後、担任の先生より「子供達の気持ちに触れていただければ幸いです」との添書きで子供達のお礼と感謝の気持ちを綴った感想文が送られて来ました。その一文を掲載してこの報告を終わります

(生6-垂 赤司 松美)

前ページより続く

工場見学後、同センターの会議室を借用して「垂水区のまちづくりについて」と題する講演を聞きました。これは昨年に引き続き、神戸市の出前トーク制度を利用して当方が要請したものです。講師は当垂水会と交流のある垂水区まちづくり推進課の児玉課長です。

区の歴史、現状、区内各地区の特徴と課題、公共事業計画、まちづくりの変遷と地域主体のまちづくり、などの項目で地図と写真を多用して

の説明がありました。

「垂水区は所帯数が全市で1位、人口は2位、戦後の急速な団地開発で夜間人口比68%の典型的なベッドタウンで高齢化のスピードが速い。公共工事では、幹線連絡とゴルフ場跡地域の再開発が課題である」など、抽象的なありきたりの話でなく熱のこもった講演でした。

まちづくりは役所がやるのではなく、地域の人々が主体であると力説されていたのが印象的でした。

(国5-垂 栗本 隆雄)

竹馬づくりのおじさんへ  
 竹馬づくりをおしえてくれてありがとうございます。わかりやすく、竹馬のつくり方をおしえてくれたので、きれいにしあがりました。とてもその時うれしかったです。ほんとうにありがとうございました。おじさんにおしえてもらってうれしかったです。のこぎりのつかい方もおしえてもらって本当によかったです。またおしえてもらいたいなあと思います。また来てほしいです。のこぎりできるとき、おじさんのおでこにあせがいたらだらできていました。

2組 M.U.

## ディークタイム 「花の街」を神戸の歌に

食5-灘 井上 善道

七色の谷を越えて

流れていく風のリボン……

江間章子さんの「花の街」が神戸をうたった歌だと、ごく最近コーラスの先生から聞かされてびっくり!

念のため別の音楽の先生に確かめたところ、こともなげに

「そうなのよ」

でもおかしいじゃありませんか。生粋の神戸っ子の私が64歳になるまで知らなかったし、市民の何割が

これを神戸の歌と認識しているのでしょうか?まして他市の人たちの何%が「花の街」を歌って神戸をイメージしてくれるのでしょうか?

もう若者には受けない歌でしょうが、でも中年以降の人たちにとっては、今でも春になるとよく歌われる人気の衰えない歌であることは間違いありません。

そして、たとえば、旅人が神戸に降り立った時に「花の街」が街中に流れていたらどんなに素敵でしょう。阪神大震災の時にも皆が口ずさんでいたら、どんなに勇気がでたことでしょう。

今からでも遅くはありません。これをシルバーカレッジの持ち歌にして、ことあるごとに神戸の街の中で流すようにして貰えないでしょうか?神戸のような素敵な町にそれにふさわしい歌が無いなんて寂しいじゃないですか。

インターネットで調べてみると戦災の焼け野原に立って作られた歌で、それは神戸だという人もあり、いや別に神戸とは限らない等々諸説紛々、でも全く否定する意見もないようです。

## 触れ合い

国6-長 田實 光男

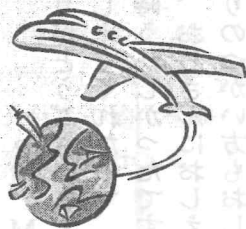
初めてグループ“わ”長田地区委員会に出席して、各委員の活動報告を傾聴し、特に紙芝居人形劇等の演技が共鳴を得た発表に感動させられ、まだ覚めやらぬ面持ちで、気が付くと駅構内に足を踏み入っていた。そして何故か理由もなく空腹を感じたのか、無意識にバックの“味覚糖飴”の包装紙を外していた。

そのとき不意に誰かに凝視監視されているかの気配を感じ周囲を一望したが、知人らしい人もなく錯覚だったのかと思いつつも、視線を感じる方に目を転じると、眼前に後向き

背負われた歳の頃1歳半に満たないと思われる幼女が口を真一文字に結び恐々と必死に白く愛らしい手を“飴”に向けて差し伸べているではないか。その様は飢えて「助けて」と哀訴している場面を演ずる撮影中の子役の演技に匹敵する程に迫力に満ちていた。しかし一瞬母親に「勝手に子供に物を与えないで」と怒鳴られ屈辱をうけるかの憂慮を感じたが、この健気で可憐な仕草に思わずほろりとさせられ、半剥きの飴を彼女の手握らせたのだった。さすれば、喜びか感謝の表現か、筆者の顔を直視し引き攀った顔に微かに緩み生じ、さも大事そうにその飴を固く

握り締めてくれた。その異状に気付いた母親は振り向きざまに「お礼を言わんとあかんよ」無造作に言った。その言動はこの幼女の慎ましい対応と余りにも不似合いで、この母親にこの子の存在かと、更に二個を片方の手に掴ませたのだった。

子は親を選択できない。この子がこの世に出現した由来を知る由もないが、この幼女はこの年齢にして己の宿命を熟知しているのかの様相に憐憫と悲運が偲ばれ、この親子が人混みに消えるまで、お互いに見詰め合い別れを惜しんだ。そして最後にこの子の多幸を祈願せずおれなかった。



## アラスカオーロラ紀行 北の夜空に舞う神秘のカーテン

航空会社: 大韓航空・アラスカ航空(利用予定)

旅行費用: 238,000円(一人部屋追加代金70,000円)

観光: オーロラツアー3回/チェナ市内/アンカレッジ市内

食事: 昼3回/夕4回(1回は日本食によるタラバ蟹食べ放題)

日時: 平成15年2月実施 申込期限: 平成14年12月末



お問合せ: 名鉄観光(株) Tel 321-5005 または 大坪 Tel 709-2484 まで 詳細近日発表します



## バナナ売り

福6-文 芦原 耐子

「さあさ、お立あい、ご用とお急ぎのない方は…」

物売りの口上のエース「がまの油売り」のはじまりの文句である。しあわせ村の夏祭りに「がまの油」でなく、バナナ、キウイ、オレンジ、グレープフルーツ、スイートコーン（冷たい）を例年のように“わ”のお仲間と屋台で売ることになりました。

暑い一日も夕風が吹きはじめると、ゾロゾロと人、人、人、その人達をひきとめる我々個々のセールストークを交えて、「バナナたき売り」よろしく商売がはじまりました。市価より安価ということもあって、あっという間に果物は売り切れしました。コーンは袋のまま大鍋の湯の中に入れて温めアッチチと袋を素手で切りお客様に手渡す、本当にアッチチでした。手の皮は一日でずい分厚くなりました。スイートコーンの最後の一本を売り切った時の満足感！お引き受けした時は恥ずかしいのではないかと案じましたが、どうしてどうしてお仲間と屋台の上に果物を並べ、ひとりふたりと売っていくうちに面白くなり持ち前の好奇心を駆り立てられていました。個々のセールストークもなかなかのものでした。

“わ”のお仲間も例年こうして夏祭りに参加して楽しんでいるのではないだろうかと思いながら満足！満足！で8時過ぎ友人の車にのせていただいで帰途につきました。

## 肩書きについて

寄稿者のお名前に付けてある肩書きは、[在学コース][在学期]・[所属部会または区会]をそれぞれ1文字で表しております。(広報誌編集部)

新連載

## 近郊ウォッチング

かってカレッジ情報誌で廣川さんの近郊ウォッチングを楽しまれた読者も多いと思います。編集子もその一人。題名を少し変えてここに再登場です、ご愛読を。

## 藍那古道

生4-北 廣川 幾雄

地元の人々に藍那古道として親しまれている道は、その昔源義経が鴨越えを目指して進んだ道でもあり、義経道とも呼ばれている。丹生山系縦走路の出発点でもある。今回は縦走路の道順に従って歩いてみよう。

まずは神戸電鉄藍那駅で下りる。線路沿いの道路を木津方向へ向かう。大型トラックがひっきりなしに通るので、端っこを小さくなって歩かなければならない。このこわい道を10分ほど歩くと藍那小学校があ

た。このあたりはもう下りになっていて、小学校から2時間もかからないうちに丹生神社の大鳥居が見えてくる。ここが藍那古道のゴールで、バス停の南側に鷲尾家旧宅跡の石灯籠が立っている。

1184年2月義経の軍勢は鷲尾家に立ち寄り鴨越への道案内を頼んでいる。鷲尾家の当主は16才になる三男を道案内に差し出すが、義経はその子に義の字を与え鷲尾三郎義久と名乗らせる。三郎義久はその後ずっと義経の従者として主と行を共にしている。つまり義経の軍勢は、丹生山から今通って来た道を逆に藍那へ向かって進んだわけである。

平家物語、源平盛衰記によると軍勢は三千余騎といわれているが、狭



鷲尾家旧宅跡の石灯籠

るので右に曲がるとあとは山道になり、丹生山系縦走路の標識に従って歩けば迷うことはない。高からず低からず、けわしい坂もなく快適なハイキング道である。

途中、道端に乗用車が2台も捨ててあるのに出会う。不法投棄であるが一体どうやってここまで運んで来たのか不思議である。どうやって運んだのか考えると夜も寝られなくなる、と同行のマーちゃんと言っている

い小径を三千もの大軍が通れたとは思えない。鎌倉幕府の公式記録である吾妻鏡では七十騎と書かれている。騎馬武者70名に郎党従者を加えて三百人というのが実数であったろうと思われる。

帰路は丹生神社前から箕谷行きのバスがあるが、近畿自然歩道を六条八幡神社、新兵衛石まで1時間ほど歩き、谷寺口から同じバスに乗ってもよい。

# 西区会

## 西区健康福祉フェアに参加

園4-西 山口 昌秀

9月8日(日)、西神中央公園内で、西区社会福祉協議会主催による健康・福祉フェアが開かれた。

我々西区の“わ”に対し、協力要請があったので、西区“わ”世話人一同で参加した。

内容は高齢者疑似体験でアイマスク、耳栓、車椅子等により、視覚障害、聴覚障害等の疑似体験のお手伝いのボランティアであった。当日は

曇りであったが、降らず、曇らず、照らずの過ごしやすい一日だった。

9時20分に集合した我々は西区社会福祉協議会の担当者から器具類の使用法の説明を受けて、区社協コーナーで待機した。フェアは10時から午後3時まで行われた。

その間、疑似体験をしに来た人は僅かに2~3人、来場者の関心の程度が低かった次第。同時に開催されていたフリーマーケット、食べ物店は結構人がいたので障害関係に対する人々の関心がまだまだ低いと思った。そんな中で向かい側のテントに居た婦人が義父の体験をしたいとやって来たのが印象に残った。

## 世に問うG学習成果

10月24日、25日の両日、神戸市、神戸市消費者協会が主催、内閣府、国民生活センター、兵庫県が後援する「2002年消費者問題神戸会議」が神戸文化大ホールなどをメイン会場に約2千人の参加者を集めて開催されました。

ことしの会議ではデフレ不況下における豊かな消費者生活の実現に向け、消費者、企業、行政が一同に会し、これからの食品の安全性問題など消費者問題に関する調査、研究の発表と意見交換が行われました。

24日に行われた分科会では消費者が関わる切実な問題点を各分野にわたり、より深く長時間熱心な討議が持たれ、第5部会では「環境について考えよう」のテーマで生活環境コース6期の島 武雄さん(写真)などがグループ学習で行った「食品の保存」の研究、調査の成果を学識経験者に伍して発表し、主催者、参加者から高い評価と注目を集めました。シルバーカレッジでの3年間の学習成果であるグループ学習が社会的にも評価された明るい出来事でした。(広報部)



### 編集後記

●9月の運営会議で会報の配布方法が話題になり、中にはお世話役が1時間以上もかけて直接届けているケースもあると聞いて、皆さんのお手元に届くまでには多くの人の働きがあることを改めて知りました。また郵送するケー

スもあり、郵送料を抑えるため、不要な原稿は没にしてページ数を減らすべしというご意見もありました。広報部としてはどれも落とすに忍びず、今号は全部載せました。皆さんはどう思われますか。

●路傍のあらごみが気になって眠れな

いというマーちゃんは誰なのでしょう。広報部の依頼で寄稿頂いた近郊ウォーキング、しばらく連載でお届けします。ご愛読ください。

●次号は来年の1月です。新年にふさわしい皆さんのご投稿をお待ちしてま

す。ではそれまで、お元気で!!

### AUTUMN 企画

穏やかな瀬戸の海を望む丘の上の露天風呂より、しまなみ街道 来島海峡大橋を眺め海の幸を・・秋の宮島厳島神社の紅葉を!

- 日 時 : 14年11月5日(火)~6日(水) (一泊二日)
- シルバーカレッジ 7:30 発 / 湊川神社前 8:00 発
- 旅行費用 : 23,000円 (お食事 / 朝1・昼2・夜1付)
- 募集人員 : 40名 定員になり次第締め切ります
- 宿 泊 : きのえ温泉 ホテル清風館 広島県豊田郡木江町沖津

お問合せ、お申込は大坪英二まで TEL 709-2484 四期生旅行同好会 (期には拘りません)

